



2024年3月12日(火)～15日(金)の3日間、東京・有明の東京ビッグサイト東展示棟1～3ホールと8ホールにて、第32回セキュリティ・安全管理総合展「SECURITY SHOW 2024」が日本経済新聞社の主催にて開催された。

映像監視や入退管理を中心に、街や社会の「安全・安心」を実現する製品・サービスが一同に会する日本最大級の展示会である。

後援：警察庁/公安調査庁/(独)情報処理推進機構/日本商工会議所/全国商工会連合会/日本貿易振興機構(ジェトロ)

協賛：(公社)日本防犯設備協会、(公財)全国防犯協会連合会、(一社)全国警備業協会、(一社)全国建設業協会、工業会 日本万引防止システム協会、(一社)日本設備設計事務所協会連合会、(一社)日本シャッター・ドア協会、日本ロック工業会、(一社)日本サッシ協会、板硝子協会、日本ウインドウ・フィルム工業会、(公社)日本ファシリティマネジメント協会、(一社)日本自動認識システム協会、(一財)日本情報経済社会推進協会、中央労働災害防止協会、日本ロックセキュリティ協同組合(順不同)

協力：テレビ東京、日経BP



■出展対象/展示エリア■

【総合セキュリティ/

重要インフラセキュリティゾーン】

オフィス、店舗、街、社会インフラ、製造・流通拠点などの総合的なセキュリティシステムや複合ソリューションを紹介するエリア。

【セキュリティ技術・製品ゾーン】

防犯、安全管理用途のセキュリティ技術・モジュールのエリアです。

【映像監視ソリューションゾーン】

ネットワークに対応した映像セキュリティ機器や、映像管理のクラウドサービス、映像解析や画像処理など、画像・映像に関連する最先端の機器と技術のエリアです。

【サイバーセキュリティゾーン】

サイバー空間はリアルと同等の社会経済活動機能を有する一方、新しいサービスや技術を悪用した犯罪が増え、その手口は悪質・巧妙化の一途をたどっています。サイバー犯罪・サイバー攻撃対策などのサイバーセキュリティ全般を紹介するエリアです。

■開催概要■

■防犯カメラ、映像監視ソリューション、各種防犯アイテム、サイバーセキュリティまで社会の安心安全を守る最新のセキュリティが集まる国内有数の展示会：SECURITY SHOW は国内有数のセキュリティ展示会。最新の防犯関連製品やサービス、AIなどの最新テクノロジーを紹介します。セキュリティ関連ビジネスに携わる方はもちろん、セキュリティ機器やシステムの導入を検討中の企業や店舗、工場、病院、公共施設、そして個人の方まで、誰もが必見の4日間。

■今注目のセキュリティ関連トピックスをわかりやすく解説するセミナーを多数開催：巧妙化する犯罪、混迷する国際情勢、身近に迫るサイバー犯罪、最新のAI技術など、今注目のテーマについて専門家による解説やディスカッションを多数実施します。受講予約や詳細は裏面のプログラムや公式ウェブサイトをご覧ください。

■「総合防犯設備士」による無料防犯相談コーナーを設置：日頃から犯罪傾向や犯行の手口を研究し防犯に取り組んでいる「総合防犯設備士」が、さまざまな建物の防犯対策・診断や防犯設備の導入アドバイスを無

料で行います。質問や悩みごとがありましたらぜひ「防犯相談コーナー」にお立ち寄りください。

■出展分野■

ビル・商業施設・店舗・オフィスなどの総合セキュリティ：総合セキュリティソリューション、ビル・店舗セキュリティ管理システム、駐車場・車両入退管理システム、セキュリティ設計・施工・コンサルティング

防犯カメラ・映像セキュリティ：IPカメラ、防犯カメラ、赤外線カメラ、用途別モニター、映像伝送機器・システム、配線関連製品、ネットワーク機器、レコーダー、サーバー、NVR、ストレージ

映像解析、画像認識、AI技術：AIカメラ、映像解析ソフト、画像解析ソフト、車種車番認識システム、行動認識AI

入退管理、オフィスセキュリティ：セキュリティゲート、来訪者受付予約システム、インターフォン、生体認証関連製品

警備用品、警備関連ソリューション：警備ロボット、警備ドローン、警備用品、警備服、警備業務管理システム、警備業管制システム、交通誘導警備システム

各種セキュリティ製品・サービス：セキュリティロボット、ホームセキュリティ、見守りサービス、車両侵入防止装置、盗難検知・盗難物追跡デバイス、アルコール検知管理システム、着信認証システム、高機能ラベル素材、多機能カーブミラー

防犯建物部品、錠前・鍵：電子錠、スマートロック、高機能シリンダー錠、物理セキュリティキー、ドアホン、センサーライト、IDカードプリンタ

警備用品、警備関連ソリューション：警備ロボット、警備ドローン、警備用品、警備服、警備業務管理システム、警備業管制システム、交通誘導警備システム

サイバーセキュリティ：サイバーセキュリティ製品、情報漏洩対策・セキュリティ対策、ゼロトラストセキュリティ、脆弱性診断・ペネトレーションテスト、不正撮影防止ソリューション、セキュリティ認証サービス

公安調査庁

沿革:公安調査庁は、昭和27年(1952年)7月21日、破壊活動防止法の施行に伴い、同法に規定する破壊的団体の規制に関する調査及び処分の請求に関する事務を一体的に遂行するために設置された行政機関です。また、平成11年(1999年)12月27日には、無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律(団体規制法)が施行され、無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する調査、処分の請求及び規制措置に関する事務が付加されました。

組織:公安調査庁の組織は、内部部局、施設等機関及び地方支分部局からなり、内部部局として総務部、調査第一部及び調査第二部の3部、施設等機関として公安調査庁研修所があり、また、地方支分部局として全国に公安調査局と公安調査事務所があります。

業務:公安調査庁は、破壊活動防止法及び団体規制法に基づいて、我が国の公共安全の確保を図ることを任務としており、経済安全保障に関する情勢のほか、サイバー攻撃や国際テロリズム、北朝鮮・中国・ロシア等の周辺諸国を始めとする諸外国の情勢、国内諸団体の動向など、国内外の諸動向

に関する情報を収集・分析し、得られた情報(インテリジェンス)を政府関係機関に適時・適切に提供することで、政府の各種施策に貢献しています。

また、いわゆるオウム真理教に対する観察処分を適切かつ厳格に実施し、その活動状況を明らかにして、国民の生活の平穏を含む公共の安全の確保に寄与しています。
情報貢献:公安調査庁は、我が国の情報機関によって構成される情報コミュニティのコアメンバーとして、内閣に置かれた内閣情報会議とその下に設置されている合同情報会議のほか、官邸や内閣官房を始めとする関係機関に対し、政府の政策決定に資する情報を日々提供しています。

また、国家安全保障会議と同会議を補佐する内閣官房国家安全保障局にも情報提供することが求められており、これに応えています。



[https://www.moj.go.jp/](https://www.moj.go.jp/psia/20130806.shokai.html)

[psia/20130806.shokai.html](https://www.moj.go.jp/psia/20130806.shokai.html)



会場案内図

〈東3ホール〉

SS3216 アムニエ Systems	SS3215 SALIG Systems	SS3211 SS3210 SS3209 グローバル テクノロジーズ	SS3208 グローバル テクノロジーズ	SS3207 グローバル テクノロジーズ	SS3206 グローバル テクノロジーズ	SS3205 SS3204 SS3201 グローバル テクノロジーズ	SS3202 グローバル テクノロジーズ
SS3220 グローバル テクノロジーズ	SS3217 グローバル テクノロジーズ	SS3213 グローバル テクノロジーズ	SS3212 SS3208 グローバル テクノロジーズ	SS3205 SS3204 SS3201 グローバル テクノロジーズ	SS3206 グローバル テクノロジーズ	SS3207 グローバル テクノロジーズ	SS3208 グローバル テクノロジーズ
SS3219 グローバル テクノロジーズ	SS3218 グローバル テクノロジーズ	SS3214 グローバル テクノロジーズ	SS3207 グローバル テクノロジーズ	SS3205 SS3204 SS3201 グローバル テクノロジーズ	SS3206 グローバル テクノロジーズ	SS3207 グローバル テクノロジーズ	SS3208 グローバル テクノロジーズ
GLOBALCOM	リアルネット ワークス	リアルネット ワークス	リアルネット ワークス	リアルネット ワークス	リアルネット ワークス	リアルネット ワークス	リアルネット ワークス

台湾パビリオン

SS3129 Kingstar Electronics	SS3128 Hundune Technology	SS3127 Hundune Technology	SS3126 Hundune Technology	SS3125 Hundune Technology	SS3124 Hundune Technology	SS3123 Hundune Technology	SS3122 Hundune Technology	SS3121 Hundune Technology	SS3120 Hundune Technology
SS3119 Hundune Technology	SS3118 Hundune Technology	SS3117 Hundune Technology	SS3116 Hundune Technology	SS3115 Hundune Technology	SS3114 Hundune Technology	SS3113 Hundune Technology	SS3112 Hundune Technology	SS3111 Hundune Technology	SS3110 Hundune Technology

総合セキュリティ/重要インフラセキュリティゾーン

SS3115 オスティアリス	SS3108 オスティアリス	SS3103 オスティアリス	SS3102 オスティアリス
SS3116 SS3114 ケル	SS3109 SS3107 ケル	SS3104 ケル	SS3101 ケル
SS3113 ケル	SS3112 ケル	SS3111 ケル	SS3110 ケル

映像監視ソリューションゾーン

SS3038 ASK TRADING	SS3027 SS3026 ASK TRADING	SS3021 ASK TRADING	SS3010 ASK TRADING	SS3003 ASK TRADING
SS3037 ASK TRADING	SS3029 ASK TRADING	SS3020 ASK TRADING	SS3011 SS3009 ASK TRADING	SS3004 SS3002 ASK TRADING

サイバーセキュリティゾーン

SS3033 Verkada	SS3022 Verkada	SS3016 Verkada	SS3001 Verkada
-------------------	-------------------	-------------------	-------------------



塚本無線



同展最大規模のブースにて出展した塚本無線では、防犯カメラ機器「WTW」シリーズ、約500種類のリニアップを一堂に展示。IPカメラ・SDIカメラ・AHDカメラおよび録画機による本格的な業務用システムや、Wi-Fiカメラ・ソーラーカメラ・自動追跡カメラ・4Gカメラ等による中小事業所向け製品、ペット見守りカメラやベビーモニター等の家庭向けの製品、感染症対策に有効な検温機器など、WTWシリーズのほぼ全ての製品の展示紹介を行った。

ホームページ▶<https://www.wtw.jp/ccd>



バイオス (BIOS)



(株)バイオスは、1988年2月に創業してから今日まで、監視、放送、医療、印刷の分野におけるビッグデータの編集加工・長期保存をテーマに、サーバー・ストレージ市場に特化したハードウェアRAID6コントローラーを世界に先駆けて実用化、「高速性」と「信頼性」「長期安定性」を提供している。本展では、監視セキュリティ・映像分野で多くの納入実績がある国産RAIDメーカーの同社が、監視カメラの録画データ保存に最適な信頼性の高いサーバー・ストレージ製品の展示紹介を行った。

ホームページ▶<https://www.bios.co.jp/>



テレビ北海道

総合セキュリティ／重要インフラセキュリティゾーンに出展し、「バーチャルマスターオペレーター」を紹介。

同製品は、PCのバーチャル空間上にオフィス環境をリアルに再現。オフィスのPCや機器操作、在席者とのコミュニケーション、電話応答などなど、オフィス業務が全て可能である。

今回の展示では、リモート環境の構築が非常に特に難しいとされている、テレビ監視室をリアルタイムで、監視・オペレーションができる様子を展示紹介した。

製品紹介パンフレット(PDF)

▶<https://messe.nikkei.co.jp/files/SS11010/4->



レッツ・コーポレーション



電話・FAX自動切替、デジタル携帯電話PBX、PB/DPコンバータ、IP電話、音声&FAX情報案内システム、ナンバーディスプレイアダプタ、立体映像システム等の設計/製造/販売およびその他各種ソフト/ハード開発など、幅広い製品開発を行っている同社では、本展では総合セキュリティ／重要インフラセキュリティゾーンに出展。AI搭載カメラで車種判別、車番認識システム、4G/LTE回線伝送一体型カメラ、特殊詐欺対策商品、コロナ対策商品、リアルタイム映像伝送、ホームセキュリティ、ネットワーク防犯カメラセットなどを紹介した。

ホームページ▶<http://www.lets-co.co.jp/>



ホーチキ

総合セキュリティ／重要インフラセキュリティゾーンに出展した同社は、1918年に日本で最初の火災報知機メーカーとして創立。火災防災を柱にした防災事業では、火災報知システム、消火システムの開発、製造、設計、施工、コンサルティングを行っている。防災事業で培った技術・ノウハウを核にセキュリティや情報通信の分野へと事業を広げ、火災防災とセキュリティの総合メーカーとして、さらなる安全・安心、快適・利便の提供に取り組んでいる。また、欧州・米州・豪州など、世界各国の消防規格に対応する製品も提供している。

本展において同社では、入退室管理システム「id・Technoシリーズ」を中心に幅広いセキュリティソリューションや設備監視ソリューションを紹介。ホーチキグループ会社のDDL社で取り扱っている商品も紹介した。

ホーチキの入退室管理システム「id・Technoシリーズ」は小規模な事務所から大規模な複合施設まで、あらゆる建物用途に対応できるフレキシブルな入退室管理システムである。



ファシリティ制御や防犯カメラとも連携ができ、セキュリティをトータル的に管理することが可能である。また、操作画面は初めての方でも簡単に、不安なく操作できるように設計している為、使う人を選ばないことが特徴である。

ホームページ▶<https://www.hochiki.co.jp/business/security/>



朋栄 (FOR-A)

画像鮮明化装置

「DHE-100(仮)」

かすみ除去機能を搭載しており、朋栄独自のアルゴリズムによる鮮明化処理により、白く霞んだ映像からオリジナルの色と濃度をリアルタイムに蘇らせ、自然な質感の映像に補正。監視において障害となるかすみや霧といった自然現象に対し、リアルタイムでの鮮明化処理が可能。雪、雷雨によるかすみからも色彩を復元。港湾監視など天候により明瞭さが左右される現場において視認性を向上させることが可能。



AI 物体認識ソフト「Effect(仮)」:映像に文字や図形などを描画できるビデオライター機能を搭載。エッジ結合、フリーハンド自動整形、モザイク機能など多彩な描画性能を携帯。映像入力はNDI®に対応しており、PTZカメラの制御、およびPTZカメラ情報に合わせた自動追尾、AIを用いた物体認識を盛り込み、監視用途での運用を想定。※NDI®はVizrtの登録商標。

小型モバイルトランスミッター「Dejero EnGo 3s」:

特許取得済みのSmart Blending Technology™。複数の回線をブレンディングし、確実な通信を実現:5G/LTE回線、衛星回線、Wi-Fi、Ethernet。最短0.5秒の低遅延、耐障害性。4K(60p)にて伝送可能。独自の5Gパフォーマンス:モデムごとに4つのアンテナ。4x4 MIMOアーキテクチャ。セキュリティ強化:AES-256暗号化でビデオストリーム、データを保護。Gatewayモード:データ転送に対応。現場のパフォーマンスと生産性を最大化。5Gネットワーク使用時で最大500Mbps。



ホームページ▶<https://www.for-a.co.jp/>



KB-eye (ケイビーアイ)

電話・FAX自動切替、デジタル携帯電話PBX、PB/DPコンバータ、IP電話、音声&FAX情報案内システム、ナンバーディスプレイアダプタ、立体映像システム等の設計/製造/販売およびその他各種ソフト/ハード開発など、幅広い製品開発を行っている同社では、本展では総合セキュリティ／重要インフラセキュリティゾーンに出展。



AI搭載カメラで車種判別、車番認識システム、4G/LTE回線伝送一体型カメラ、特殊詐欺対策商品、コロナ対策商品、リアルタイム映像伝送、ホームセキュリティ、ネットワーク防犯カメラセットなどを紹介した。

▶ホームページ:<https://kb-eye.jp/company/>



地震災害時に

長期保存可能で美味しい食品を供給

JAPAN HOUSE



業務案内

株式会社 ジャパンハウス

〒157-0063 東京都世田谷区粕谷 1-12-12
TEL:03-3306-5432 FAX:03-3306-5420
URL:<https://www.japanhouse.co.jp>
E-mail: info@japanhouse.co.jp



自衛隊関連製品